

## 地方創生推進交付金にかかるKPI検証について

### 1 地方創生推進交付金の概要

平成28年度から地方版総合戦略の本格的な推進に向け、国は次のとおり地方創生の深化のための新型交付金を創設しました。

- ① 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- ② 3～5年の実施計画に基づく取組が対象
- ③ 事業費の1/2を国から地方公共団体に交付

また、事業の推進にあたっては、効果的なPDCAサイクルを実施するため、重要業績評価指標（KPI）を設定するとともに第三者機関による検証が求められています。

### 2 平成30年度取組の概要

本市は、平成28年3月24日に「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行い、長期的な視点で、本市居住の魅力＝「暮らしやすさ」を磨き上げ、「子はかすがい、子育ては春日井」ブランドを醸成することにより、その魅力を市内外に積極的に発信していくこととしました。

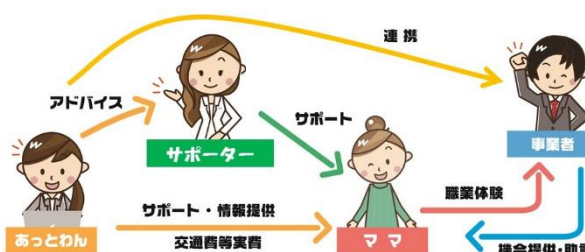
平成30年度は3年間の事業計画（平成28～30年度）の最終年度として、情報の発信や、これまで順調であった事業を引き続き強化しつつ、子育て世代の母親にとって働きやすい環境を整える事業を新たに始めるなどの取組を行いました。

#### (1) ママインターン

結婚、出産を機に「働く」ことから離れている女性に、就労体験を通じて子育てしながら働くことについて体感してもらう事業です。

「こんな仕事が向いてるんだ」や「このペースなら仕事と家庭の両立ができる」など、自分に合ったライフスタイルの発見をサポートすることができました。

	参加者	受入可能事業所
H28	11名	8カ所
H29	13名	12カ所
H30	8名	16カ所



また、市内にどのような就職先があるのか、実際にどのような業務を行うのかを知り、就労へのハードルを下げる機会として、「ママのためのお仕事見学バスツアー」を新たにスタートさせました。

## (2) ママハッピー度調査

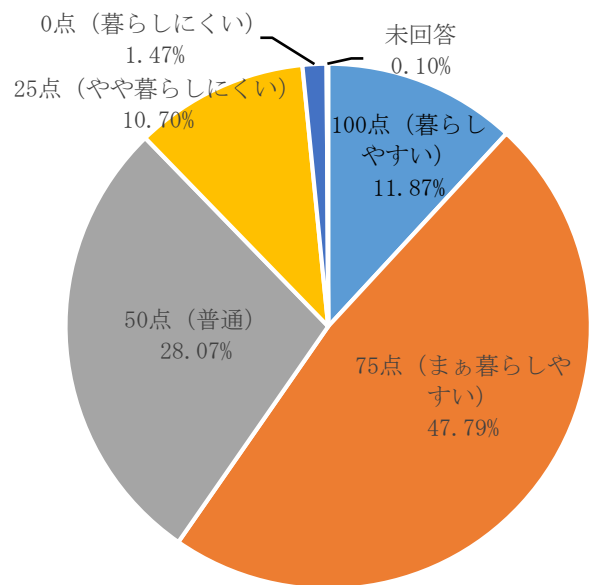
子育て世代のニーズを把握することや、子育て世代のハッピー度を可視化することなどの目的のもと、アンケート調査を実施する事業です。

スマートフォンを活用し、春日井オリジナルキャラクターの会話により自然な形でアンケートへ誘導することで、より多くの市民の声をいただくことができました。

	アンケート期間	回答数	アンケート結果
1回目	H29年1/18~2/7	977件	「子育てしやすいまち」と回答した人の割合63%
2回目	H29年6/19~8/22	580件	「自分の生活(子育て、仕事、趣味などを含む)に満足」と回答した人の割合66%
3回目	H30年7/12~9/12	1019件	「春日井市は暮らしやすい」と回答した人の割合60%



春日井市の暮らしやすさは何点ですか？



## (3) 情報の発信

地域や行政のイベント情報やコラムなど、子育てをより楽しくするための情報サイト「春日井ハッピーママズ」を平成29年3月29日に開設し、市内NPO法人によるサイトの管理運営により、ママ目線の情報を掲載しました。



平均アクセス数	約27,000/月(H30年4月~H31年3月)
メールマガジン登録者数	933件 (H31年3月末時点)

### 3 KPI（重要業績評価指標）

地方創生推進交付金の活用にあたり、交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

#### ① 0～14歳の転出入の差（転入－転出）

	当初値	1年目 (H28)	2年目 (H29)	3年目(最終年度) (H30)
目標値	-186人 (H26)	-166人	-144人	-124人
実績値		-224人	-293人	-146人

#### ② ママインターン導入事業所数（受け入れ可能事業所数）

	当初値	1年目 (H29.3)	2年目 (H30.3)	3年目(最終年度) (H31.3)
目標値	0事業所	2事業所	5事業所	11事業所
実績値	(H28.8)	11事業所	16事業所	16事業

### 4 3年間の総括

平成28年度に始まった「子はかすがい、子育ては春日井」宣言推進事業は、NPO法人や観光コンベンション協会と連携し、既存の子育て支援施策の周知、安全安心な基盤づくりなど、「ママ目線」での情報発信、移住定住プロモーション、働き方改革に取り組みました。市としては事業の構築や運営を支援し、各団体が独立、自走して事業を続けられるよう体制づくりを行いました。

KPI①「0～14歳の転出入の差（転入－転出）」に関しては、目標達成はできませんでしたが、当初値よりも改善することはできました。また、転出者に対してアンケートを実施したところ、「住宅」や「仕事」などやむを得ない事情で転出する割合が高いことがわかりました。これを踏まえつつ、KPI①は短期で効果の出にくい指標であるため、引き続き子育て世代が仕事や生活のしやすい環境を整えるなど、住みたい・住み続けたいと思うイメージづくりのために多角的なアプローチをしていく必要があります。

KPI②「ママインターン導入事業所数」に関しては、2年目の段階で最終年度の目標を達成できたこと、就労体験後に就労先の企業や他の企業に就職したママインターン参加者もいるなど、高い効果を上げているものと考えられます。しかしママインターン参加者と受け入れ事業所との間で取組が完結してしまい、参加者ではない子育て世代の母親や、受け入れをしていない事業所などには理念が波及せず、「子育てしやすいまち」というイメージを浸透させることはあまりできませんでした。

## 5 今後の取組方針

今年度から事業名を「『子はかすがい、子育ては春日井』パワーアップ事業」へ変更し、これまでの事業を継続、強化していく方針です。

### (1) ママインターン

これまで年1回だったママインターンを年2回に増やすとともに、春日井商工会議所と連携し会員企業へ事業の浸透を図ることで、市内企業全体へ理念の普及を行い、「子育て世代の母親の生き方支援」と「企業の働き方改革」という両側面を強化し、より「働きながら子育てしやすい」環境の構築をめざします。

またバスツアーに関しても、実施回数を年2回に増やし、これまで母親のみで参加していたものに加え、子どもも一緒に参加できるバスツアーを企画し、親子で働くことについて考える機会場の場とします。

### (2) ままなび

アレルギー、防災、発達と育ちなど、育児中の女性が気になると思われるテーマの学習会を実施します。受講者は学習会で得た知識を、受講者同士の意見交換会を通じて掘り下げ、最終的には地域の母親向けに学んだ知識を還元するため、オープンスタイルで講座を企画、子育て支援センター等で実施してもらう事業です。子育て中の母親が子育てしながら社会でいきいきと活躍することをめざします。